資料３

地域共生社会の実現に向けた取り組み

基本目標１　地域の支え合いの仕組みづくり

（１）地域福祉の意識の醸成

●市民への学習機会の提供、福祉出前講座・福祉学習会の充実

<table>
<tr><th colspan="2">市社会福祉課</th><th>市社会福祉協議会</th></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">▲人権啓発事業</td><td>▲人権教室</td><td>▲福祉実践教室</td></tr>
<tr><th colspan="3">市社会福祉課×市児童保育課</th></tr>
<tr><td colspan="2">【療育サポート会議】
　療育サポート会議の事業として、児童分野の市内関係機関（幼稚園、保育園、児童館等）が児童対象の障害福祉サービス（児童発達支援・放課後等デイサービス）を学ぶ場を提供した。企画途中で市民の方にも参加してもらえるイベントに変更した。</td><td></td></tr>
</table>

（２）地域支え合い活動の推進

●新たな支え合い活動の創設支援

市社会福祉協議会× 市企画政策課、総務課、社会福祉課、高齢福祉課
【住民主体による高齢者等の移動支援を考える協議体】 　「住民主体による高齢者等の移動支援を考える協議体」を立ち上げ、市民、ブロック社協関係者、民生委員・児童委員、市担当課、社協担当課等が参画し、“地域で実施できる”移動支援について協議していく。

（３）参加と活動の場の確保と交流促進

●市民の交流促進・場づくり

市総務課（市民協働係）×児童保育課	
【協働テラス（R7）】 　ファミリーサポートセンターの提供会員（子育てを手助けできる人）不足の解消方法や、地域全体で子育てを考える仕組み作りを考えた。	【つながるテラス】 　ヨシヅヤ清洲店で月１回、市民団体が開催する子育てイベント。啓発等においてこども家庭課と連携・情報共有している。

市総務課（市民協働係）× 市企業誘致課、こども家庭課、児童保育課、危機管理課	
【つながるテラス祭】 協働テラスから企画された子育て部門の活動の一つで、個々で子育てに関する活動している市民をメンバーとした実行委員会により、活動や情報を一つの場に集約したイベントを実施した。	

●参加・協働の促進

市社会福祉協議会	
【認知症本人のつどい（総務係×地域包括支援センター）】 認知症基本法に基づき、認知症本人の声を聞き、居場所づくりを目的に認知症本人のつどいとして、園芸活動を開始した。清洲総合福祉センターの園芸ボランティアの協力を得て、ご本人様、ご家族様とマリーゴールドを植え、育てていくこととなった。	
▶認知症本人のつどいの様子 	▶植えられたマリーゴールド 
【ぷらっとにしび（地域づくり事業×参加支援事業）】 令和４年度から第２層協議体ぷらっとにしびを立ち上げ、西枇杷島地区におけるまちづくりについて話し合いやイベントを開催している。	

基本目標２　必要とする人に必要な支援が届く仕組みづくり

（１）包括的な支援体制の充実

●多職種連携の推進

市社会福祉協議会	
【地域ケア個別会議】 　自立支援・介護予防の観点に加え、民生委員・児童委員が参画し、事例を通した地域課題を専門職とともに一緒に考えた。	

（２）多様な困難を抱える人への支援

●心配ごとや困りごとを抱えた方への支援

市社会福祉協議会	
【食品配布会・歳末支え愛ギフト等】 　フードドライブで集まった食品を生活に困っている方へ配布する事業を実施している。食品配布を行う際に、アンケート調査を実施し困りごとを聞き取り、必要に応じて関係機関へつなげている。 　また、企業の社会貢献活動としてフードドライブ事業への協力を呼びかけている。	

基本目標３　安心・安全な暮らしのための環境づくり

（２）安心して暮らせる環境の確保

●災害時の体制づくり

市社会福祉課×市危機管理課	
【個別避難計画作成支援説明会】 　各ブロック及び自主防災会に民生委員・児童委員の活動の周知を図り、地域の防災力を向上させるため、個別避難計画作成支援説明会を実施し、個別避難計画の必要性を伝えると共に、配布の「安否確認タオル」等を活用した防災訓練を啓発することで、地域の自主防災訓練を促した。	 

●見守り活動の推進

市社会福祉協議会×市危機管理課	
【ブロック社協等の活動推進及び支援】 　地域における防災をテーマとした福祉学習会や防災訓練の開催を推進している。また、必要に応じて危機管理課へ講師を依頼し、連携を図っている。	
▶福祉学習会の様子 	▶防災訓練の様子 